

長野県出資等外郭団体改革状況検証シート

(公益・特別法人用)

【対象決算年度：令和3年度】

1 団体の概要

|   |   |                    |             |              |              |
|---|---|--------------------|-------------|--------------|--------------|
| 団体名<br>(所在地)  | 一般社団法人長野県観光機構<br>(長野市中御所岡田町131-4ホテル信濃路3階)   |                    | 代表者         | 理事長 野原 莞爾    |              |
| 設立根拠  | 整備法   | 設立年                | 昭和35年       | 県所管部局<br>(課) | 観光部(山岳高原観光課) |
| 設立の沿革   | 設立目的(寄付行為・定款上)<br>・昭和35年：社団法人長野県観光開発公社設立<br>・昭和44年：社団法人長野県観光連盟設立<br>・平成13年：社団法人長野県観光開発公社と社団法人長野県観光連盟とを統合し、社団法人長野県観光協会発足<br>・平成16年：社団法人信州・長野県観光協会に名称変更<br>・平成25年：一般社団法人信州・長野県観光協会発足<br>・平成28年2月：日本版DMO候補法人に登録(観光庁)<br>・平成28年7月：一般社団法人長野県観光機構に名称変更<br>・平成29年11月：日本版DMO(地域連携DMO)に登録(観光庁) |                    |             |              |              |
| 基本財産<br>(円)   | 124,450,000   | うち県の<br>出捐額<br>(円) | 100,000,000 | 県出捐率<br>(%)  | 80.4%        |
| 具体的な事業内容<br>・国内外からの観光旅行者を誘客するための事業<br>・観光情報の収集及び発信<br>・県外観光情報センターの運営、県産品の販売等収益性のある事業<br>事業執行状況を示す主な指標<br>・着地型旅行商品造成、販売(コース数、人) R元:(14、289) / R2:(1、11) / R3:(0、0)<br>・銀座NAGANO店舗レジ通過者(人) R元:145,614 / R2: 100,750 / R3: 117,141<br>・県外観光情報センター来訪者(人) R元:438,265 / R2: 137,624 / R3: 77,502<br>・県産品販売(千円) R元:282,378 / R2 :333,424 / R3 :341,926<br>・公式観光サイト広告事業収入(千円) R元:8,151 / R2 :13,701 / R3 :8,583<br>・酒類販売(千円) R元:18,202 / R2 :37,418 / R3 44,310<br>※令和3年度指標の減少は、令和2年度から続く、新型コロナウイルスによる、旅行ツアー実施の見送りなどによる影響 |   |                    |             |              |              |
| 主な出捐者・出捐額(円)・出捐率(%)<br>・㈱八十二銀行 4.0%<br>・長野県バス協会 4.0%<br>・中部電力 2.4% ほか   |   |                    |             |              |              |

\* 役員員数は各年度当初現在、平均年齢及び平均年収は令和3年度当初現在

| 役員数           | 年度    | H30        | H31(R1) | R2          | R3    |
|---------------|-------|------------|---------|-------------|-------|
|               |       |            |         |             |       |
| 役員数           | 常勤    | 1          | 1       | 2           | 1     |
|               | うち県職員 | 0          | 0       | 1           | 0     |
| 職員数           | 非常勤   | 18         | 23      | 22          | 19    |
|               | うち県職員 | 1          | 3       | 2           | 0     |
| 職員数           | 常勤    | 14         | 15      | 15          | 15    |
|               | うち県職員 | 6          | 7       | 7           | 7     |
| 非常勤           |       | 46         | 44      | 43          | 53    |
| 常勤職員計         |       | 15         | 16      | 17          | 16    |
| 非常勤職員計        |       | 64         | 67      | 65          | 72    |
| 県職員計(非常勤役員除く) |       | 6          | 7       | 8           | 7     |
| 役員平均年齢        | 65    | 役員平均年収(千円) | 5,068   | 職員平均年齢      | 50.0  |
|               |       |            |         | 職員の平均年収(千円) | 3,235 |

\* 次表は令和3年度の状況で、( )内は令和2年度 (単位：千円、%)

| 収益等状況       | 金額           | 比率          | 金額            | 比率            |                     |
|-------------|--------------|-------------|---------------|---------------|---------------------|
| 経常収益(A)     | 3,166,470    | (2,297,933) | 補助金           | 2,236,595 (0) |                     |
| 経常費用(B)     | 3,196,538    | (2,304,491) | 事業費           | 2,236,595 (0) |                     |
| 経常損益(A)-(B) | △ 30,068     | (△ 6,558)   | 運営費           | 0 (0)         |                     |
| 当期損益        | △ 29,757     | (△ 6,705)   | 交付金           | 0 (0)         |                     |
| 公益事業比率      | 13.8 (18.4)  | 正味財産比率      | 88.1 (73.7)   | 負担金           | 434,220 (1,764,596) |
| 経常比率        | 99.1 (99.7)  | 流動比率        | 726.8 (247.4) | 委託料           | 59,231 (73,637)     |
| 人件費比率       | 7.1 (10.0)   | 固定比率        | 67.9 (67.0)   | 貸付金           | 0 (0)               |
| 管理費比率       | 5.3 (7.4)    | 固定長期適合率     | 63.4 (62.0)   | 出捐金           | 0 (0)               |
| 事業支出伸び率     | 38.7 (189.8) | 借入金依存率      | 0.0 (0.0)     | 損失補償年度末残高     | 0 (0)               |
| 補助金等比率      | 87.5 (82.6)  |             |               | 人件費関係費用(再掲)   | 5,068 (5,078)       |

民間(NPO含む)との競合状況

・当機構は、長野県全域の観光情報の総合的かつ継続的な情報提供あるいは、案内サービスが可能であるとともに、市町村等と連携した効率的で効果的な誘客宣伝活動を行うことができる唯一の団体であり、競合しない。

2 団体の改革推進の状況

| 改革基本方針                          | 実施年月  | 実施状況  |
|---------------------------------|---|---|
| 経営の自立化を図りつつ、観光の牽引役として活躍できる職員の育成 |   |   |
| 改革基本方針                          |   |   |
| H19年度～                          | 県(観光部)との役割分担等の検討                            | H19年4月 県「観光部」設置に伴い、県からの派遣職員を13名から5名に減員  |
| H20年度～                          | 「観光立県長野再興計画」に基づく自立的運営事業の展開                  | H20年4月～ H21年4月～ H22年5月～<br>H21年度からの会費負担復活について、会員に説明<br>会費負担を復活し、会費による観光振興事業を実施<br>新公益法人化検討会議を設置し、公益法人制度改革への方向性について検討  |
| H25年2月～                         | 「改革基本方針」改訂(経営の自立化を図りつつ、観光の牽引役として活躍できる職員の育成) | H23年3月29日 「一般社団法人」(非営利型)への移行を目指すことを総会において議決・承認<br>H23年4月1日～ H23年5月～ 県経営者協会観光委員長 野原氏が理事長に就任<br>新公益法人化検討会議において定款等の具体的検討<br>H24年3月27日 移行後の機関設計と定款を総会において議決・承認<br>H24年6月18日 移行認可申請を総会において議決・承認<br>H24年8月24日 移行申請書を内閣総理大臣に提出<br>H25年3月19日 「一般社団法人」移行認可<br>H25年4月1日 「一般社団法人」設立登記<br>H26年4月1日～ 中期経営計画の策定に着手<br>H28年2月26日 日本版DMO候補法人登録<br>H29年3月17日 中期経営計画(経営方針編・マーケティング編)策定<br>H29年11月28日 日本版DMO(地域連携DMO)法人登録<br>H30年3月26日 中期経営計画(財務編)策定<br>R2年3月26日 第二次中期経営計画策定 |

経営計画等の策定状況  
 ・平成29年3月17日に中期経営計画(経営方針編・マーケティング編)を策定した。  
 ・平成30年3月26日に中期経営計画(財務編)を策定し、「平成34年度における正味財産増減額の均衡」を財務目標とした。  
 (令和2年3月31日をもって、前述の中期経営計画(経営方針・マーケティング編、財務編)が終了)  
 ・令和2年3月26日に、令和2年度から4年度までの3カ年を対象とした第二次中期経営計画を策定し、令和4年度における正味財産増減額の均衡を引き続き目標とした。

情報公開の取組状況  
 ・「情報公開規程」(平成25年4月1日施行)に基づき、県に準じて公開  
 ・事業計画書、決算報告書を当機構ホームページで公表(平成18年度決算から)

監査等結果  
 (令和3.11.16 財政的援助団体等に対する監査委員監査結果)  
 【意見】  
 ・地方自治体においては、地方自治法の改正に伴い、令和2年度から内部統制制度が導入されました。県出資等外郭団体は、自立した経営基盤の下で効果的かつ効率的な公共サービスを県と連携しながら提供するという公益的役割を担っています。  
 このため、組織の体制として財務会計処理が担当者任せになっていないかなど、業務執行状況を再点検のうえチェック体制を強化するとともに、内部統制に関する規定やマニュアルの整備、職員に対する研修会の開催など、内部統制の取組を推進してください。  
 ・団体運営において重要な職責を担う監事は、事業運営の透明性の向上と財務規律の一層の強化を図るため、公認会計士等の業務運営や会計制度などに一定の知見を有する者を外部から選任するなど、監査体制の強化、充実に務めてください。

団体の課題等  
 [団体記載欄]  
 ・一般社団法人化にともない、毎年度計画的に公益目的事業を実施していかねばならないが、これを補うための収益の確保が図られていないことから、毎年度、正味財産を取り崩している。  
 → 自主財源の確保策として、第二次中期経営計画に従い①新規会員の入会促進などによる会費収入増加策の検討②地域連携による新たな事業展開など積極的な新規開拓③コロナ禍に対応した物産販売事業、WEB事業やデジタルマーケティングを活用した収益事業の更なる拡充④国等の適正な事務費を含めた財源を活用した事業展開⑤事業経営の効率化を進め、一般管理費全体の更なる節減努力などを継続的に実施し、収入増加、支出抑制に努める。  
 [県記載欄]  
 ・県DMOとして本県観光をけん引していく組織の重要性はますます高まっており、県観光戦略においても県と機構は役割分担しながら本県観光振興に努めていくこととしている。機構の公益的な業務量は増加傾向だが、外部から専門人材を採用するなど、体制強化と業務の効率化・見直しを実施していく必要がある。  
 ・財務面では厳しい状況が続いており、令和2年3月に策定した第二次中期経営計画に基づき着実に経営改善を行うことが課題となっている。業務の効率的な実施により経費の圧縮を図り、同時に、自主財源を確保するため、収益事業の拡充や新たな会員の獲得、会費の見直しを行う必要がある。

【財務の状況】（公益・特別法人用）

団体名：一般社団法人長野県観光機構

① 正味財産増減計算書

(単位：千円)

|                       |                            | 平成31年（令和元年）度 | 令和2年度     | 令和3年度     |
|-----------------------|----------------------------|--------------|-----------|-----------|
| 一般正味財産増減の部            | 経常増減の部                     |              |           |           |
|                       | 経常収益(A)                    | 773,929      | 2,297,933 | 3,166,470 |
|                       | うち基本財産運用益                  | 67           | 10        | 10        |
|                       | うち受取会費                     | 35,238       | 35,271    | 35,272    |
|                       | うち事業収益                     | 329,560      | 364,213   | 360,914   |
|                       | うち受取補助金等                   | 409,064      | 1,898,439 | 2,770,274 |
|                       | うち受取国庫補助金                  | 16,514       | 19,584    | 7,124     |
|                       | うち受取県補助金                   | 0            | 0         | 2,236,595 |
|                       | うち受取市町村補助金                 | 0            | 0         | 0         |
|                       | 経常費用(B)                    | 795,225      | 2,304,491 | 3,196,538 |
|                       | うち事業費                      | 642,044      | 2,133,868 | 3,025,546 |
|                       | うち公益事業費                    | 548,630      | 424,024   | 440,130   |
|                       | うち給料手当                     | 126,541      | 120,838   | 122,446   |
|                       | うち管理費                      | 153,181      | 170,623   | 170,992   |
|                       | うち役員報酬                     | 5,094        | 5,078     | 5,068     |
|                       | うち給料手当                     | 96,432       | 105,439   | 101,022   |
| 経常増減(損益)額(C)=(A)-(B)  | △ 21,296                   | △ 6,558      | △ 30,068  |           |
| 経常外増減の部               | 経常外収益(D)                   | 0            | 0         | 9,000     |
|                       | 経常外費用(E)                   | 687          | 147       | 8,689     |
|                       | 経常外増減額(F)=(D)-(E)          | △ 687        | △ 147     | 311       |
|                       | 一般正味財産増減(当期損益)額(G)=(C)+(F) | △ 21,983     | △ 6,705   | △ 29,757  |
| 一般正味財産期首残高(H)         | 941,770                    | 919,787      | 913,082   |           |
| 一般正味財産期末残高(I)=(G)+(H) | 919,787                    | 913,082      | 883,325   |           |
| 指定正味財産                | 受取補助金等                     |              |           |           |
|                       | うち受取国庫補助金                  |              |           |           |
|                       | うち受取地方公共団体補助金              |              |           |           |
| 当期指定正味財産増減額(J)        | 0                          | 0            | 0         |           |
| 指定正味財産期首残高(K)         | 0                          | 0            | 0         |           |
| 指定正味財産期末残高(L)=(J)+(K) | 0                          | 0            | 0         |           |
| 当期正味財産増減額(M)=(G)+(J)  | △ 21,983                   | △ 6,705      | △ 29,757  |           |
| 正味財産期首残高(N)           | 941,770                    | 919,787      | 913,082   |           |
| 正味財産期末残高(O)=(M)+(N)   | 919,787                    | 913,082      | 883,325   |           |

② 貸借対照表

|             |             | 平成31年（令和元年）度 | 令和2年度     | 令和3年度   |
|-------------|-------------|--------------|-----------|---------|
| 資産          | 流動資産        | 484,796      | 627,998   | 402,177 |
|             | うち現金預金      | 358,062      | 521,487   | 319,979 |
|             | 固定資産        | 542,673      | 611,613   | 600,201 |
|             | 基本財産        | 124,450      | 124,450   | 124,450 |
|             | うち土地        | 0            | 0         | 0       |
|             | うち投資有価証券    | 50,600       | 50,600    | 50,600  |
|             | 特定資産        | 63,714       | 72,714    | 63,714  |
|             | うち退職給与引当資産  | 63,714       | 63,714    | 63,714  |
|             | うち減価償却引当資産  | 0            | 0         | 0       |
|             | その他の固定資産    | 354,509      | 414,449   | 412,037 |
| 資産合計        | 1,027,469   | 1,239,611    | 1,002,378 |         |
| 負債          | 流動負債        | 43,968       | 253,815   | 55,339  |
|             | うち短期借入金     | 0            | 0         | 0       |
|             | うち未払金       | 35,464       | 230,338   | 29,201  |
|             | 固定負債        | 63,714       | 72,714    | 63,714  |
|             | うち長期借入金     | 0            | 0         | 0       |
| うち退職給与引当金   | 63,714      | 63,714       | 63,714    |         |
| 負債合計        | 107,682     | 326,529      | 119,053   |         |
| 正味財産        | 指定正味財産      |              |           |         |
|             | うち基本財産への充当額 |              |           |         |
|             | うち特定資産への充当額 |              |           |         |
|             | 一般正味財産      | 919,787      | 913,082   | 883,325 |
|             | うち基本財産への充当額 |              |           |         |
| うち特定資産への充当額 |             |              |           |         |
| 正味財産合計      | 919,787     | 913,082      | 883,325   |         |
| 負債及び正味財産合計  | 1,027,469   | 1,239,611    | 1,002,378 |         |